

全国女性会館協議会 第58回全国大会
実施報告書

1	日時	2014年11月1日(土)・2日(日)
2	会場	アピオあおもり 青森県男女共同参画センター
3	主催	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 青森県男女共同参画センター指定管理者 ASTAC・G (アスタグループ)
4	共催	青森県
5	主題	女と男が拓くわたしたちの未来
6	募集方法	① 会員館への要項・参加申込書の配布 ② チラシ ③ 青森県男女共同参画センターウェブサイト ④ 全国女性会館協議会ウェブサイト
7	プログラム	<p>(1)11月1日(土)</p> <p>①開会式</p> <p>◆主催者あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県知事 三村申吾 ・特定非営利活動法人全国女性会館協議会 理事長 桜井陽子 <p>◆来賓あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府男女共同参画局 局長 武川恵子 ・文部科学省生涯学習政策局 局長 河村潤子 <p>②対談</p> <p>「青森発！若者のチカラが地域を変える ～若者も高齢者も自分らしく生きられる地域をめざして～」</p> <p>上野千鶴子(社会学者) 古市憲寿(社会学者)</p> <p>③「第8回事業企画大賞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業企画大賞(1事業)、奨励賞(3事業)、審査委員特別賞(1事業)表彰 ・講評 審査委員長 内海隆 (青森公立大学教授、青森県男女共同参画審議会会長) ・事業企画大賞事業紹介 「インターネットラジオ『ラジオmjc』 もりおか女性センター <p>④ラウンドテーブル・ディスカッション</p> <p>「女性関連施設の成果と課題、そしてこれから」</p> <p>上野千鶴子さん(社会学者) 木須八重子さん(公益財団法人せんだい男女共同参画財団理事長) 坂田静香さん(大田区立男女平等推進センター) 松下光恵さん(NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか代表理事) 納米恵美子さん(公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会事業本部長) 黒澤あずささん(公益財団法人日本女性学習財団学習事業課長) 山口文代さん(個人会員/NPO法人パートナーシップながれやま代表) 桜田今日子さん(独立行政法人国立女性教育会館事業課長) *進行 小山内世喜子(青森県男女共同参画センター副館長)</p> <p>⑤情報交換会</p>

		<p>(2) 11月2日(日)</p> <p>① 分科会</p> <p>A 「事業運営に新たな視点を ～つなぐ×組み合わせる×魅せる～」(事業企画) 事例発表／青森県男女共同参画センター 事業スタッフ 篠崎有香</p> <p>B 「人」と「情報」をつなぐ、女性関連施設の情報ライブラリー 事例発表／札幌市男女共同参画センター 管理係長 佐々木初美 ／青森県男女共同参画センター情報ライブラリー リーダー 三森久美子</p> <p>C 生きづらい女性たち～複合的に困難な状況にある女性のための相談事業～ 事例発表／青森県男女共同参画センター 相談室 堀内美穂 ／男女共同参画センター横浜 相談センター担当課長 新堀由美子</p> <p>D 災害時におけるセンター間の相互支援ネットワーク</p> <p>②全国女性会館協議会全体会 協議会より事業説明 連絡・周知事項の伝達</p> <p>(3)展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ある」ってだいじ ～地図で見る全国女性会館協議会会員館～ ・文部科学省委託事業「あおり被災地の地域コミュニティ再生支援事業」パネル ・「STOP! デートDV写真展 photo by 小野啓」パネル(男女共同参画センター横浜)
8	事業企画 大賞	<p>①事業企画大賞</p> <p>◆事業企画大賞</p> <p>もりおか女性センター インターネットラジオ「ラジオ mjc」</p> <p>◆奨励賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 男女共同参画の視点での防災対策 体験からモデルづくりへ ～誰もが安心な避難所のために～ ・北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」 ケアメン養成講座&啓発冊子 「男の介護『そして、ケアメンになる。』」 ・仙台市男女共同参画推進センター「エル・パーク仙台」 男性の育児参加を推進するトークセッション 「家族を笑顔にしたい! パパたちの作戦会議」 <p>◆審査委員特別賞</p> <p>大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」 男女共同参画を推進するボランティアスタッフの活躍推進事業</p> <p>②審査委員</p> <p>◆審査委員長</p> <p>内海隆(青森公立大学教授、青森県男女共同参画審議会会長)</p> <p>◆審査委員</p> <p>相木麻季(株式会社東奥日報社編集局生活文化部次長)</p>

阿部吉平（株式会社阿部重組代表取締役社長、アピオあおもり指定管理者アスタク・グループ代表）
 北村真夕美（青森県男女共同参画推進協議会会長、アピオあおもり運営委員会委員長）
 三浦朋子（青森県環境生活部青少年・男女共同参画課課長）
 山口文代（NPO法人全国女性会館協議会理事）

9 参加者数とアンケート結果

- ◆会員館関係者参加者数 111人
- ◆参加会員館数 37館
- ◆一般参加者数(対談：上野千鶴子さん×古市憲寿さん) 133人
(対談総参加者 230人)

参加者数 アンケート回収数 評価	参加者数	アンケート回収数	大変満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
プログラム							
オープニングイベント（会員館）	97	26	22	3	1	0	0
オープニングイベント（一般）	133	65	44	17	1	0	3
対談（会員館）	97	27	7	13	6	1	0
対談（一般）	133	70	40	15	2	0	13
事業企画大賞	95	28	18	9	1	0	0
ラウンドテーブル・ディスカッション	95	29	21	4	3	1	0
情報交換会	79	21	16	5	0	0	0
分科会A（事業）	28	8	7	1	0	0	0
分科会B（情報）	14	5	3	2	0	0	0
分科会C（相談）	17	4	3	0	0	0	1
分科会D（防災）	23	13	11	2	0	0	0
全体会	75	20	14	6	0	0	0

10 感想

【会員館参加者】

- ・各施設が同じ悩みを抱えていることがわかった。
- ・生き残るために・・・真剣に考えました。有意義な時間でした。
- ・りんご、ありがとうございます！（^-^）
- ・第58回になる全国女性会館協議会も、将来の事を考えた時は若手世代の育成、継承、そして、他県との連携が必要だと思えます。常に同じ男女共同参画センターとばかり協働していても幅の広がりはない。
- ・上野先生からの問題提起を何よりも重く受け止めた。将来的な課題として、女性施策に対する思想的に偏した「バックラッシュ」より、もっと恐いのが、社会資本の老朽化に対し「この施設は更新に値するか？」という課題である。今年のラウン

		<p>ドテーブルの課題は、次年度以降、何らかの形で毎年、討議の場を設けるべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日のラウンドテーブルで、危機的状況を共有化し、現状を打破するヒント、知恵をキャッチすることができました。帰ってから、職員と、この情報をわかちあいたいと考えております。 ・この全国大会、とても有意義でした。ラウンドテーブルディスカッションでは、上野さんはじめ、各登壇の話から男女共同参画センターが担う役割を考える機会となりました。また分科会では、これまでの協議会での検討会なども踏まえ、より具体的に考えるきっかけになりました。シミュレーションしていきたいと思いません。本当にありがとうございました。 ・このような学びの場が本当に励みになります。情報事業について改めて考える機会になりました。孤立しがちな情報担当の横のつながりは大切だと思います。ラウンドテーブルディスカッションの上野さんのお話から取組みを改めて検証したいと思いました。参加させていただきましてありがとうございました。大変有意義な時間でした。 ・ラウンドテーブルディスカッションのパネリストを3人ぐらいにしばった方が良いと思います。しかし、この企画があり参加者が課題を明確に意識できたと思います。非常によかったです。 ・全体会で各分科会報告を割愛して、分科会の時間をたっぷりとっていただきよかったと思う。 ・とっても暖かいおもてなし+お元気（雨もありましたが、、、）。楽しい2日間でした。この連携と情報共有は防災面においてもとても貴重なものです。これからも宜しく。ありがとうございました。 ・事業企画大賞のプレゼンを見ることが出来、どんな事業なのかよくわかり良かった。その他の事業内容も詳しく知れると良いナと思いました。会員も投票できたりするシステムも（大変そうですが）、よりお互いを知れていいかもしれないと思いました。ラウンドテーブルは、いい意味で刺激になり、危機も共有することができたのではないのでしょうか。協議会の存在が増々必要だと思います。分科会、課題共有できました。各センターからの知恵もいただけて感謝です。 ・<1日目>対談は一般の方にも参加していただくためだと思うが、やはり題材が合わない感じがした。ラウンドテーブルは、各センターの説明が長く、上野さんに参加していただいている意味が感じられなかった。各センターの内容は資料して確認する程度でよかったのでは。 <2日目>分科会はとても良いお話ができた。センター職員と共有したい。青森のおもてなし、最高でした。ありがとうございました。 ・分科会では、担当者レベルで具体的な話し合いをすることができ、とても良かった。ラウンドテーブルは、発表者の方ごとにスライドがあったら、ありがたかった。少し長時間でした。上野さんのおっしゃるように、危機感を持って、安心して働きたい。ありがとうございました。
11	主催館感想	<p>全国大会青森大会に全国からたくさんの会員館及び個人会員の方にお集まりいただきまして、まことにありがとうございました。青森産のりんご「ふじ」のお味はいかがだったでしょうか。男女共同参画の仲間「ホッキーガイ」はかっこよかったでしょうか。</p> <p>さて、上野千鶴子さんのご提案で実施した「ラウンドテーブル・ディスカッション」。</p>

課題を共有しながら、今後の男女共同参画センターの在り方を真摯に考えるきっかけになったというお声を聴き、試行錯誤のなかでも実施できて良かったと思っております。

また、情報交換会や分科会では同じ目的を持つ人たちとの語らいは、相乗効果をもたらし、大きな力につながっていき、一堂に会することの重要性を改めて認識しました。そして、全国大会では運営等でみなさまにご迷惑をおかけした部分もあったかと思いますが、申し訳ございませんでした。しかしながら、この大会に向けての準備、分科会の開催など、職員にとって、エンパワーメントするきっかけにつながったと思います。

このような大きな事業を実施していつも思うことは、たくさんの方に支えられ、仲間がいるからこそ実現できるということです。今後も face to face の関係性を大事にしながら、男女共同参画社会づくりに取り組んでいきたいと思っております。

ラウンドテーブルの登壇者の皆様、分科会の事例発表及び運営にご協力いただいたみなさま、ご参加いただいたみなさま。そして、このような機会とご指導いただきました全国女性会館協議会に感謝申し上げます。そして、このネットワークが、各センターの今後の事業運営に生かされることを期待しております。

(アピオあおもり 青森県男女共同参画センター 副館長 小山内世喜子)